

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【公表番号】特表 2002-519830 (P2002-519830A)

【公表日】平成 14 年 7 月 2 日 (2002.7.2)

【出願番号】特願 2000-557481 (P2000-557481)

【国際特許分類】

H 0 1 B 5/00 (2006.01)

C 0 8 K 9/02 (2006.01)

C 0 9 C 3/06 (2006.01)

H 0 1 B 1/00 (2006.01)

H 0 1 B 1/22 (2006.01)

【F I】

H 0 1 B 5/00 D

H 0 1 B 5/00 H

C 0 8 K 9/02

C 0 9 C 3/06

H 0 1 B 1/00 H

H 0 1 B 1/00 D

H 0 1 B 1/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の被覆粒子を含む組成物であって、該被覆粒子がそれぞれ単独に

、

(a) ガラス繊維と、セラミック繊維と、孔の総容積が約 10 ~ 約 98 容量% を占めるような孔 (単数あるいは複数) を含むセラミック楕円体と、孔の総容積が約 10 ~ 約 98 容量% を占めるような孔 (単数あるいは複数) を含むガラス楕円体とからなる群から選択されるコア粒子と、

(b) 該コア粒子に接着された導電性酸化スズインジウムを含むコーティングと、を含み、該被覆粒子の ΔE_w^* 値が約 50 未満であり、該被覆粒子の体積抵抗率が約 $0.1 \Omega \cdot \text{cm}$ を上回り、かつ約 $1000 \Omega \cdot \text{cm}$ を下回る組成物。

【請求項 2】 前記コア粒子が、中空ガラス微小球と、中空セラミック微小球と、ガラス繊維と、セラミック繊維とからなる群から選択される請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】 前記コア粒子の視感透過率が 80 % 未満である請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】 複合材料であって、

(a) ポリマーバインダと、

(b) 複数の被覆粒子を含む組成物であって、該被覆粒子のそれぞれが単独に、

(i) 無機材料およびポリマー材料とからなる群から選択される材料をそれぞれ単独に含むコア粒子と、

(ii) 導電性金属酸化物を含み、該粒子に接着されたコーティングとを含む組成物と、

を含み、該被覆粒子の ΔE_w^* が約50未満であり、該被覆粒子の体積抵抗率が約 $0.1 \Omega \cdot \text{cm}$ を上回り、かつ約 $1000 \Omega \cdot \text{cm}$ を下回り、

(I) 該複合材料の表面抵抗率が $10^5 \sim 10^{12} \Omega / \text{スクエア}$ であること、および

(II) 該複合材料の体積抵抗率が $10^4 \sim 10^{11} \Omega \cdot \text{cm}$ であること、
の少なくともいずれか一方が当てはまる複合材料。

【請求項5】 前記ポリマーバインダ(a)が、ポリマー樹脂類からなる群から選択される請求項4に記載の複合材料。

【請求項6】 前記被覆粒子が、前記ポリマーバインダ(a)と、前記複合材料の総体積を基準に5%～65%の装填量で組合わされる請求項4に記載の複合材料。

【請求項7】 前記コア粒子が、孔の総容積が約10～約98容量%を占めるような孔(単数あるいは複数)を含むセラミック楕円体と、孔の総容積が約10～約98容量%を占めるような孔(単数あるいは複数)を含むガラス楕円体と、これらの混合物とからなる群から選択される請求項4に記載の複合材料。